

少年の日の思い出

学習のポイント

- ・情景描写から、場面がどのように展開しているかを捉える。→1の(2)
- ・登場人物の感じ方や、考え方の変化を読み取る。→1の(5)(6)・3の(7)
- ・登場人物の言動・表現の特徴をおさえる。→1の(4)

◆ 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

客は、夕方の散歩から帰って、私の書齋で私のそばに腰掛けていた。昼間の明るさは消えうせようとしていた。窓の外には、色あせた湖が、丘の多い岸に鋭く縁取られて、遠くかなたまで広がっていた。ちょうど、私の末の男の子が、おやすみを言ったところだったので、私たちは、子供や幼い日の思い出について話した合った。

「子供ができてから、自分の幼年時代のいろいろな習慣や楽しみ事が、またよみがえってきたよ。それどころか、一年前から、僕はまた、ちよう集めをやっているよ。お目にかけてようか。」

と、私は言った。
① 彼が見せてほしいと言ったので、私は、収集の入っている軽い厚紙の箱を取りに行った。最初の箱を開けてみて、初めて、もうすっかり暗くなっているのに気づき、私は、ランプを取ってマッチをすった。すると、たちまち②外の景色は闇に沈んでしまい、窓全体が不透明な青い夜の色に閉ざされてしまった。

私のちようは、明るいランプの光を受けて、箱の中から、きらびやかに光り輝いた。私たちは、その上③に体をかがめて、美しい形や、濃い見事な色を眺め、ちようの名前を言った。

「これは、ワモンキシタバで、ラテン名はフルミネア。ここらではごく珍しいやつだ。」

友人は、一つのちようを、ピンの付いたまま箱の中から用心深く取り出し、羽の裏側を見た。

□(1) 線①「彼」とありますが、この人物と同じ人物を表している言葉を、第一段落から探し、書き抜きなさい。

□(1) _____

□(2) 線②「外の景色は……閉ざされてしまった」とありますが、どのような様子を表していますか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ランプの明かりで、外の景色が鮮やかに見えている様子。
- イ 窓ガラスにランプが映り、外の景色が見えなくなる様子。
- ウ 室内が明るくなったため、暗い外が見えなくなった様子。
- エ 色あせた湖だけが光り、辺りの景色がかすんでいる様子。

□(2) _____

□(3) 線③「その上」とありますが、何の上ですか。「の上。」に続くように文章中の言葉を使って五字以上十字以内で書きなさい。

□(3) _____の上。

□(4) 線④「熱情的な収集家だった」とありますが、そのことを表しているしぐさの描写を文章中から一文で探し、初めの五字を書き抜きなさい。

□(4) _____

- 1 父の書齋
- 2 いすに腰掛ける
- 3 透明な水
- 4 門を閉ざす
- 5 妙なうわさ
- 6 とげが刺さる
- 7 蓋を開ける
- 8 愉快な気分
- 9 ココロヨい眠り
- 10 クラガりで迷う
- 11 たばこをスう

「妙なものだ。ちようを見るくらい、幼年時代の思い出を強くそえられるものはない。僕は、小さい少年の頃、熱情的な収集家④だったものだ。」

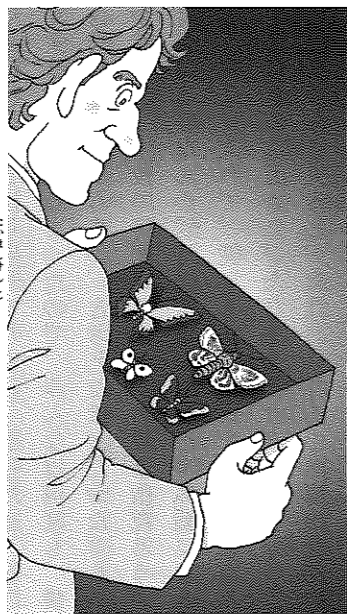
と、彼は言った。

⑤ そして、ちようをまた元の場所に刺し、箱の蓋を閉じて、「もう、結構。」

と言った。

⑥ その思い出が不愉快でもあるかのように、彼は口早にそう言った。その直後、私が箱をしまつて戻つてくると、彼は微笑して、巻きたばこを私に求めた。

「悪く思わないでくれたまえ。」と、それから彼は言った。「君の収集をよく見なかったけれど、僕も子供のとき、むろん収集していたのだが、残念ながら自分でその思い出をけがしてしまった。実際、話すのも恥ずかしいことだが、ひとつ聞いてもらおう。」



(ヘルマン・ヘッセ／高橋健二訳「少年の日の思い出」より)

重要語句

☆ 次の言葉の意味を答えなさい。または、その言葉を使った例文を書きなさい。

① 熱情	意味	例文
② 色あせる	意味	例文

③ ヲロロ	意味	例文
④ むさぼる	意味	例文

- (5) 線⑤「もう、結構」とありますが、なぜそのように言ったのですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア ちようを、もう見あきてしまったから。
- イ ちようを傷めてはいけないと思ったから。
- ウ 美しいちようを見て、満足したから。
- エ 昔の思い出がよみがえったから。
- (6) 線⑥「その思い出が不愉快でもあるかのように」とありますが、なぜ「不愉快」なのですか。「彼」の言葉を使って、二十字以内で書きなさい。
- (7) 線⑦「ひとつ聞いてもらおう」とありますが、どんな話だと考えられますか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア ちようを集めた楽しい思い出話。
- イ ちようにまつわる苦い思い出話。
- ウ 珍しいちようを捕らえた自慢話。
- エ 美しいちようを逃がしてしまった失敗談。

□(5) _____

□(6) _____

□(7) _____

- 12 ごハンを食べる
- 13 ムスウの星
- 14 タカラを見つける
- 15 成功をヨロコぶ
- 16 ヨクボウを満たす
- 17 リツパな道具
- 18 ピンでトめる
- 19 シイク小屋
- 20 ヒョウバンがよい

※ 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

僕は、八つか九つするとき、ちよう集めを始めた。初めは特別熱心でもなく、ただ、はやりだったのでやっていって来たまでだった。ところが、十歳ぐらいになった二度目の夏には、僕は全くこの遊戯のとりこになり、ひどく心を打ち込んでしまひ、そのため、他のことはすっかりすっぱかしてしまつたので、みんなは何度も、僕にそれをやめさせなければならぬまい、と考えたほどだった。ちようを探りに出かけると、学校の時間だろうが、お昼ご飯だろうが、もう、塔の時計が鳴るのなんか、耳に入らなかつた。休暇になると、パンを一切れ胴乱どうらんに入れて、朝早くから夜まで、食事になんか帰らないで、駆け歩くことがたびたびあった。

今でも、美しいちようを見ると、おりおり、あの熱情が身にしみて感じられる。そういう場合、僕はしばしの間、子供だけが感じることでできる、あのなんともいえない、むさぼるような、うっとりとした感じに襲われる。少年の頃、初めてキアゲハに忍び寄つた、あのとき味わつた気持ちだ。また、そういう場合、僕は、15すぐに幼い日の無数の瞬間を思い浮かべるのだ。強く匂う、乾いた荒野の、焼けつくような昼下がり、庭の中の涼しい朝、神秘的な森の外れの夕方、僕は、まるで宝を探す人のように、網を持って待ち伏せていたものだ。そして、美しいちようを見つけると、特別に珍しいのでなくつたつてかまわない、ひなたの花に止まつて、色のついた羽を呼吸とともに上げ下げしているのを見つけると、捕らえる喜びもつまりそうになり、しだいに忍び寄つて、輝いている色の斑点の一つ一つ、透き通つた羽の脈の一つ一つ、触角の細いとび色の毛の一つ一つが見えてくると、その緊張と歓喜ときたらなかつた。そうした微妙な喜びと、^⑤激しい欲望との入り交じつた気持ちは、その後、^⑥そうしたたび感じたことはなかつた。

僕の両親は、立派な道具なんかくれなかつたから、僕は、自分の収集を、古いつぶれたボール紙の箱にしまつておかなければならなかつた。瓶の栓から切り抜いた、丸いコルクを底にはり付け、ビンをそれに留めた。こうした箱のつぶれた縁の間に、僕は、自分の宝物をしまつていた。初めのうち、僕は、自分の収集を喜んでたびたび仲間に見せたが、他の者は、ガラスの蓋のある木箱や、緑色のガーゼをはつた飼育箱や、その他ぜいたくなものを持つていたので、自分の幼稚な設備を自慢することなんかできなかつた。それどころか、^⑦重大で、評判になるような発見物や獲物があつても、ないしよにし、自分の妹たちだけに見せる習慣になつた。あるとき、僕は、僕らのところでは珍しい、青いコムラサキを捕らえた。それを展てんし、乾いたときに、得意のあまり、せめて隣の子供にだけは見せよう、という気になつた。それは、中庭の向こうに住んでいる先生の息子だつた。^⑧この少年は、非の打ちどころがないという悪徳をもつていた。それは、子供としては二倍も意味悪い性質だつた。彼の収集は小さく貧弱だつたが、こぎれいなものと、手入れの正確な点で、一つの宝石のようなものになつていた。彼は、そのうえ、傷んだり壊れたりしたちようの羽を、にか45わで継ぎ合はすという、非常に難しい、珍しい技術を心得ていた。とにかく、あらゆる点で模範少年だつた。そのため、僕は妬み、嘆賞しながら彼を憎んでいた。

(ヘルマン・ヘッセ / 高橋健一訳「少年の日の思ひ出」より)

重要な語句

☆ 次の言葉の意味を答えなさい。または、その言葉を使った例文を書きなさい。

①	歓喜	意味	例文
②	貧弱	意味	例文

③	非の打ちどころがない	意味	例文
④	せめて	意味	例文

□1 — 線①「この遊戯」とありますが、何を指していますか。文章中から探し、五字で書き抜きなさい。

□1

□2 — 線②「そういう場合」とは、どういう場合ですか。それが最もよくわかる部分を、文章中から探し、「場合」に続くように、九字で書き抜きなさい。

□2

□3 — 線③「少年の頃、……味わつた気持ち」というのは、どのような気持ちですか。文章中から四十五字以内で探し、初めと終わりの五字を書き抜きなさい。(句読点も字数に数えます。)

□3

□4 — 線④「無数の瞬間」とありますが、この例が具体的に書かれている一文を文章中から探し、初めの五字を書き抜きなさい。

□4

□5 — 線⑤「激しい欲望」とありますが、どんな欲望ですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- 1 子供の遊戯
- 2 鉄塔によじ登る
- 3 人目を忍ぶ
- 4 網をかける
- 5 赤い斑点
- 6 緊張した顔
- 7 ガラスの瓶
- 8 栓を抜く
- 9 一位を自慢する
- 10 恥ずかしい話
- 11 サンボに出る
- 12 色あせたミズウミ

ア 珍しいちようを見つけないという欲望。
イ ちようの生態を観察したいという欲望。
ウ 近くでちようを見つめたいという欲望。

□6 — 線⑥「宝物」とは、何を表していますか。文章中から探し、二字で書き抜きなさい。

□6

□7 — 線⑦「重大で、評判に……習慣になつた」とありますが、なぜそのような習慣になつたのですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自分の大切な収集は、妹たちだけに見せたかつたから。
イ 自分の設備が幼稚なので、仲間に見せたくなかつたから。
ウ 重大な収集を仲間に見せると妬まれてしまうから。
エ 自分の収集を自慢してはいけないと思つたから。

□7

□8 — 線⑧「この少年は、非の打ちどころがないという悪徳をもつていた」とありますが、どんな少年だつたのですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 勉強がよくできて、よく知恵が働く少年。
イ 頭が良く青白い顔をして、気味が悪い少年。
ウ 完全すぎて子供らしくなく、親しみが持てない少年。
エ 力が強く、けんかは一度も負けたことがない少年。

□8

- 13 アツガミで作る
- 14 ヨウジン 深い性格
- 15 扉をトじる
- 16 ケッコウな品物
- 17 マきたばこ
- 18 ザンネンな結果
- 19 エウキを出す
- 20 罪をコクハクする

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

せめて例のちようを見たいと、僕は中に入った。そしてすぐに、エーミールが収集をしまっている二つの大きな箱を手にとった。どちらの箱にも見つからなかったが、やがて、そのちようはまだ展翅板に載っているかもしれないと思いついた。果たしてそこにあった。とび色のビロードの羽を細長い紙切れで張り伸ばされて、5クジャクヤママユは展翅板に留められていた。僕は、その上にかがんで、毛の生えた赤茶色の触角や、優雅で、果てしなく微妙な色をした羽の緑や、下羽の内側の縁にある細い羊毛のような毛などを、残らず間近から眺めた。あいにく、あの有名な斑点だけは見られなかった。細長い紙切れの下になつていたので。

胸をときどきさせながら、僕は紙切れを取りのけたいという誘惑に負けて、留め針を抜いた。すると、四つの大きな不思議な斑点が、挿絵のよりはずっと美しく、ずつとすばらしく、僕を見つめた。それを見ると、この宝を手に入れたという、逆らいがたい欲望を感じて、僕は、生まれて初めて盗み犯した。僕は、ピンをそつと引つ張った。ちようは、もう乾いていたので、形は崩れなかった。僕は、それをのひらに載せて、エーミールの部屋から持ち出した。そのとき、さしずめ僕は、大きな満足感のほか何も感じていなかった。

ちようを右手に隠して、僕は階段を下りた。そのときだ。下の方から誰か僕の方へ上がってくるのが聞こえた。その瞬間に、僕の良心は目覚めた。僕は突然、自分は盗みをした、下劣なやつだということに悟った。同時に、見つかりはしないか、という恐ろしい不安に襲われて、僕は、本能的に、獲物を隠していた手の上着のポケットにつっ込んだ。ゆつくりと僕は歩き続けたが、大そそ

□(1) 線①「そこ」とありますが、どこを指していますか。文中から探し、三字で書き抜きなさい。

□(2) 線②「紙切れを取りのけたいという誘惑」とありますが、これは何をしたいということの意味していますか。文章中の言葉を使って、二十字以内で書きなさい。

□(3) 線③「四つの大きな……僕を見つめた」について答えなさい。

A このときの僕の気持ちとして最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 見たいと思っていた願いを果たし、満足する気持ち。
イ すばらしいものを見ることができ、誇らしい気持ち。
ウ 美しい斑点の魅力に引き込まれるような気持ち。

エ 誘惑に負けた自分のことを恥ずかしく思う気持ち。

B ここに使われている表現技法として、最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 擬人法 イ 倒置法
ウ 対句法 エ 反復法

□(4) 線④「生まれて初めて盗み犯した」とありますが、部屋を出るまでの間、「僕」の心を占めていたのはどんな心情でしたか。文章中から探し、六字で書き抜きなさい。

漢字の読み書き

- ① 優雅な衣装
- ② 間違いを犯す
- ③ 真実を悟る
- ④ 模範を示す
- ⑤ 友人を妬む
- ⑥ 欠陥を見つける
- ⑦ 本の挿絵
- ⑧ 攻撃をかわす
- ⑨ 活気を呈する
- ⑩ 自然のシンビ
- ⑪ 得意のゼツチョウ
- ⑫ 木のミキ

れた恥ずべきことをしたという、冷たい気持ちに震えていた。上がってきた女中と、びくびくしながらすれ違つてから、僕は胸をときどきさせ、額に汗をかき、落ち着きを失い、自分自身におびえながら、家の入り口に立ち止まった。

すぐに僕は、このちようを持っていることはできない、持つていてはならない、元に戻して、できるなら、何事もなかったようにしておくかなければならない、と悟った。そこで、人に出くわして見つかりはしないかということに極度に恐れながらも、急いで引き返し、階段を駆け上がり、一分の後には、またエーミールの部屋の中に立っていた。僕は、ポケットから手を出し、ちようを机の上に置いた。それをよく見ないうちに、僕はもう、どんな不幸が起こったかということを知った。そして、泣かんばかりだった。クジャクヤママユはつぶれてしまったのだ。前羽が一つと触角が一本、なくなっていた。ちぎれた羽を用心深くポケットから引き出そうとすると、羽はばらばらになつていて、繕うことなんかももう思いも寄らなかつた。



(ヘルマン・ヘッセ / 高橋健一訳「少年の日の思い出」より)

重要な語句

☆次の言葉の意味を答えなさい。または、その言葉を使った例文を書きなさい。

①	良心	意味	良心がとがめるような行動はしない。
②	丹念	意味	丹念に鏡をみがく。

□(5) 線⑤「僕の良心は目覚めた」とありますが、このとき「僕」は自分のことをどう思ったのですか。文章中から探し、十五字で書き抜きなさい。

□(6) 線⑥「急いで……立っていた」とありますが、「僕」は何のためにエーミールの部屋に戻ったのですか。文章中の言葉を使って簡潔に書きなさい。

□(7) 線⑦「泣かんばかりだった」とありますが、このときの「僕」の気持ちとしてあてはまるものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア せっかく手に入れた獲物を手放さなければならぬ嘆き。
- イ ちようを元に戻しておくことができなくなった嘆き。
- ウ 返そうとした宝を、また盗みたくなくなった嘆き。
- エ 美しいちようがつぶれてしまった嘆き。
- オ 親しい友人の信頼を裏切ってしまった嘆き。

③	あつく	意味	都合が悪いことに。運悪く。
④	繕う	意味	破れた物や壊れた物を使うように直す。

- ⑬ コナを混ぜる
- ⑭ 実力をミトめる
- ⑮ 計画をココロみる
- ⑯ シタを鳴らす
- ⑰ カメラをカマえる
- ⑱ セイギの味方
- ⑲ 遅いジコク
- ⑳ オサナイ子供